



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

ボランティア創立10周年

10th ANNIVERSARY

1999年、横浜国際総合競技場につどい集まった私たちボランティアがボランティア活動を始めてから、今年で10年を迎えました。思えば10年間にはいろいろなことがありました。当初、約700名の殆どの皆さんが、初めてのボランティア活動で「いらっしゃいませ」の声もなかなか思うように出せなかったり、広いスタジアムの西も東も分からなくなり407号・420号の休憩室を間違えたり、お客様への案内で逆方向に教えてコンコースを一周回らせて怒られたり、多くの失敗を積み重ねての10年間でした。FIFAワールドカップをはじめスタジアムを満席にさせた国際大会やスーパー陸上など、早朝から夜遅くまでのハードな活動を皆で協力し合って達成させた大きな喜びをいくつも味わった10年間でした。第1回のボランティア研修会で学んだ「ホスピタリティー」「おもてなしの心」がなかなか身につかず、色々なお客様への対応がときに乱れたこともあったり、また、活動の中でのボランティア同士の協力が乱れることもありましたが、全員が「日産スタジアムボランティア」のIDを胸に「ボランティア精神」で励ましあい共に手を取り合って乗り越えてきて、この10周年があります。

10年の思い出をお持ちの方々も、今年参加の方々も、共にこの「10周年祝賀」を祝おうではありませんか。そして、次の20周年（2019年）を目指して「楽しいボランティア活動」をリスタートしてまいりましょう。



日産スタジアム
ボランティア 創立10周年記念 祝賀パーティ開催 お知らせ

期 日 7月4日（土）16時より

会 場 日産スタジアム401号ホール

ご来賓（予定）木村重治前副場長、
横浜マリノス（株）、横浜シミズ（株）

祝賀会
ビュッフェ形式パーティ、
ボランティア功労者表彰
ロゴマーク・キャッチコピー表彰
アトラクション *IDカード持参

会 費 2000円（別紙に詳細・申込書あり）



10th ANNIVERSARY 10周年記念事業 10th ANNIVERSARY

10周年記念イベント実行委員会にて企画された記念事業をお知らせいたします。2009年度内に決定したもののから順次実施してまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

記念 ロゴマーク・キャッチコピー応募作品

今年3月から募集しました日産スタジアムボランティアのロゴマーク・キャッチコピーが、5月末締め切りで下記にご覧の通りのいくつもの力作・傑作が集まりました。これからの私たちのユニホームやワッペンとして胸に飾られるものです。どうぞ貴方のお気に入りのロゴマーク、キャッチコピーそれぞれ1点を同封出欠ハガキに番号を記入して投票してください。投票締切：6月20日 発表：7月4日記念パーティ会場

キャッチコピー応募作品

1 情熱を心に秘め夢を求めて我は行く日産スタジアムボランティア

2 鶴の舞うスタジアム絆に結ばれる友と夢を求め

日産スタジアムボランティア

3 夢の舞台で親愛なる友と理想を求め希望に燃え戦う我は

日産スタジアムボランティア

4 横浜の大地に夢をとどけ！！

5 横浜の空へ跳べ！輝け！

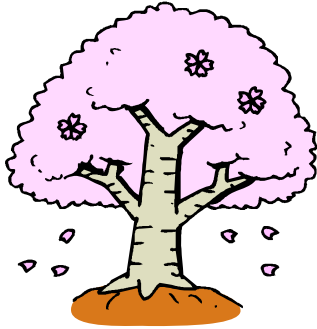
6 今日も おもてなしの心で 元気に イチ、ニッサン

7 ありがとう この10年 目指そう 2019年

8 ボランティアの笑顔で スマイルスタジアム

※ ロゴマークは別刷りカラー版に掲載されています。同封ハガキでご投票ください。

10th ANNIVERSARY 10周年記念事業



記念植樹

10周年を記念して記念樹を植えることが決まりました。樹種は「ヨコハマ緋桜」を予定しています。7月4日記念パーティ当日に植樹を企画しましたが、盛夏に向かう時期でもあり根付くかどうかの不安もあり、スタジアムのグリーンキーパーとも相談して、改めて植樹日を決めることとしました。来年、もしかしたら再来年、4月にはこのサクラの下で「お花見の宴」ができますよ。植樹日は改めてお知らせいたします。ご期待ください。

記念樹 募金：私たちの記念樹が立派に育つための募金をおこなっています。ご協力をお願いいたします。

一日活動体験デイ

子供たちの1日活動体験デイが秋以降に企画されています。子供たちがお父さん・お母さんと一緒にスタジアムで、私たちボランティアとボランティア活動体験をしていただきます。きっと近い将来に「僕は日産スタジアムでボランティアやる」と言うお子さんが出てくることでしょう。

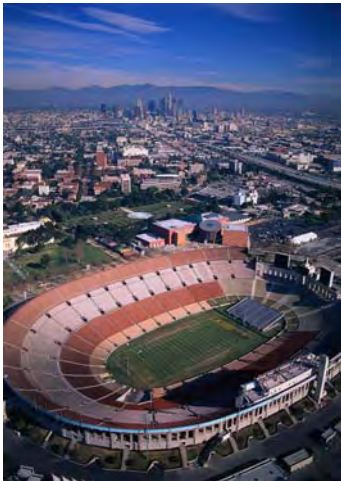
未だ企画段階ですが、横浜マリノス（株）さん、横浜シミズ（株）さんとご相談させていただいて、実現できるよう企画を進めて参ります。



他スタジアム見学ツアー

2004年に静岡スタジアム・エコパと清水日本平にバスで見学ツアーを行ったことがありました。また、電車では鹿島スタジアムと埼玉スタジアムにも見学ツアーを行いました。

これも未だ企画段階で、相手スタジアムさんのご都合や試合日程もありますので、十分に検討して実施できるよう進めて参ります。他スタジアムで、日産スタジアムの活動には無い、とか、気づかない「何か」が見つかるかもしれません。



ボランティア創立10周年記念特集号 ボランティア10年の歩み 編集 スタートします

皆さんにとって数々の思い出を刻んだ「ボランティア10年の歩み」を記録に残す為に、「ボランチわ」特集号を編集・発刊することになりました。これから皆さんに「楽しかった思い出」「苦しかった思い出」などをお伺いしてまいりますので、どうぞご協力宜しくお願いいたします。また「活動の秘蔵写真」などお持ちでしたら是非ご提供ください。集まった原稿の編集をお手伝いいただける方も募集いたします。発行目標を本年末としてがんばって参りますので、どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

(ボランチわ編集部)



平成20年度 運営ボランティア全員集会 議事録

- ・日時 平成21年2月21日〔土〕 10:00~12:00
- ・会場 日産スタジアム 301号室

1: 開会挨拶・小山副場長

「今年は開港150周年、横浜体育協会80周年、ボランティア結成10周年と節目の年である。記念イベントをいくつか計画しているが、2年、3年と継続できるものは続けていきたい。指定管理者やネーミングライツも21年度中に更新の時期を迎える。企画力と実績を「売り」としていきたいので是非協力をお願いしたい。

2: 議案審議 議長選出、運営委員の安田副委員長 本日現在の登録者総数330人・委任状等163名〔うち運営委員長に一任67名〕・出席者 68名 岸本さんから、全員集会であれば委任状、議決権行使書までは不要で、出欠届けだけでよいのではないかと、との意見があり、次回以降はこの指摘に沿って、簡素化を検討する旨、議長より説明

【議案1】全員集会の規約(案)の検討経緯の件(報告) 横塚運営委員長より議案書に基づき説明
事前質問・「報告事項は議案ではない」との意見があったが、今回は報告の了承という形をとり、次回以降改善する旨、議長より説明

座長から本件を了承するかを問い掛けがあり、異議なしの声を挙げて了承された。

【議案2】全員集会の規約(案)の承認の件(審議) 横塚運営委員長より全員集会の規約(案)について説明 事前質問・第2条「…目的とします」という表現、第3条「構成員」という表現、第13条の1項、2項の順序、第16条の施行日などについて事前意見があり、一部加筆修正のうえ本案を提示している旨、運営委員長より説明

質問・第2条の目的にある「その周辺」とはどこか。回答・副場長より「新横浜公園をさしている」

質問・新横浜公園では別にボランティアを募集するとの情報があるが。回答・まだ決まっていない(スタジアム側から説明)。

意見・第12条では活動報告が決議となっているが。回答・報告の正誤を修正した上、活動結果の適否の了解を決議するという意味である。活動成果自体が不適切であれば、運営委員会を信任しないという手続きもある。

意見・第13条2項の承認は「構成員の2分の1以上」とした方がよくないか。回答・1項と重要性の比較から本案のとおりでよいと考えている。

議長より本案を了承するかを問い掛けがあり、拍手多数を持って可決

【議案3】ボランティア創立10周年のイベント企画の件(審議)

浅見運営委員より議案書に基づき説明

質問・イベントの中には費用のかかるものも多いが。回答・スタジアムの負担で検討中だが、参加者に一部負担をお願いすることもありうる(スタジアム側から説明)。

質問・活動体験の(2)はJリーグクラブボランティアを対象と受け止めてよいか。回答・そのとおり。

意見・日程を決めて取り組みを急ぐべきだ 回答・記念パーティはスタジアムとの協働として検討を進めている(スタジアム側から説明) 回答・活動体験(1)は夏前の、(2)秋のデイゲームを検討している。回答・活動体験(2)は我々が出かけていって体験すべきだと意見がスタジアム側からあり、見直しも検討している。

議長より本案を了承するかを問い掛けがあり、拍手多数を持って可決された。

【議案4】今年度の活動状況の件(報告)

【議案5】次年度の活動計画(案)の件(審議)

横塚運営委員長より議案書に基づき説明。引き続き各部長から、次年度の活動計画の内容について説明。

全国ホームタウンサミットへの参加経費について、スタジアム側と協議ができる旨、運営委員長より説明

提案・リーダー一部会長から新任のリーダーについて、1名の受諾返事があった。

意見・研修のテーマにホスピタリティを取り上げて。回答・検討していきたい。講師を推薦して欲しい。議長から本件を一括して了承するかを問い掛けがあり、異議なしの声を挙げて了承された。

【議案6】次年度運営委員等の選出の件(審議)横塚運営委員長より運営委員の11人留任について提案があった。

議長より本案を了承するかを問い掛けがあり、拍手多数を持って可決

閉会挨拶・佐藤修さんの挨拶

「20年度は「やりがいとは何か」を自問して取り組んできた。CWCで活動の場を獲得し、自主事業も新しい成果だった。特に活動の円滑化と、そのフォロー反省に留意している。また広報・周知も強化。新年度は事務局も含め組織体制を整えたい。全員集会で活動の位置づけを得たものはスタジアムとして支援をしていきたい」

平成20年度 運営ボランティア 研修会 報告

日 時 平成21年2月28日(土) 13時～15時
 場 所 日産スタジアム 301号室
 内 容 運営場ボランティア活動における「コミュニケーションの技術」について
 講 師 NPO 夢・コミュニケーション・ネットワーク代表

講義ノート

① 研修テーマ

これまで実施したアンケートの結果では「リーダー」についての意見・感想が多く、運営委員会は誰もがリーダーになれることを目標に研修を進めてきました。今回は昨年2月について2回目です。

② 講師について

外部の方に講師をお願いするに当たり横浜市市民活動支援センターを訪ね、時任先生を紹介されました。先生と研修内容を相談する中で、リーダーにはコミュニケーションの技術が最も重要ということで今回のテーマが決まりました。

③ 研修のレジュメ

研修は講義とワークショップを交互に織り交ぜて進められました。講義はレジュメに示すテーマをパソコンによるスライド(パワーポイント)で説明し、我々研修生との対話をとおして進みました。この中では相手の立場を思いやり、「気づく」ことの大切さが強調されました。

④ ワークショップ

ワークショップはグループに分かれて進められました。まず、60名が大きく4組に分かれ、通路に15名の縦隊が4列並び、それぞれの組ごと誕生日の順番に整列するというゲームです。ただし、会話をしてはいけません。どのように素早く正確に並ぶのか、コミュニケーションの大切さを学びました。

次は2人1組で、1人が嬉しかった、感動したことを話します。しかし聞き手はこれを全く無視。何と切ないことでしょう。また、別の相手と、今度はとても聞き上手に受け入れられて。

この2つの場面から何を感じ、何を学んだかを4人1組でグループ討議し、そして発表しました。

最後は4人1組の「ロールプレイ」です。チラシ配布のグループ打ち合わせの場面で、リーダー役の一人がメンバー役の3人に「…そこは適当にやってね。…」と指示します。さてメンバーはどう反応するでしょう。各組とも即興の寸劇を、どのようなストーリーにすればこの講義のテーマに貢献できるのかを推し量って演じていきます。わずか2～3分ですが、各組とも意味深い特徴ある寸劇でした。また、それぞれには先生からポイントをつくコメントがあり大変参考になりました。

⑤ 感想

「横浜一番の楽しい講師」という前評判どおりの素晴らしい先生でした。トレードマークのアロハシャツがお似合いで、先生の熱意を表し、またそれが印象的でした。思いやりと「気づくこと」がコミュニケーションの基本なのだと改めて学んだ研修でした。

【研修のレジュメ】

- ◆ はじめに
- ◆ 自主的な活動から得られるもの
- ◆ 自分の居場所
- ◆ チームのリーダーとは?
- ◆ 対等な関係
- ◆ 今、なぜ、コミュニケーションが注視されているのか
- ◆ 対人関係コミュニケーション
 - ・ 共感性
 - ・ 信頼性
 - ・ 関係性
- ◆ コミュニケーションはキャッチボール
- ◆ グループワーク
- ◆ 承認し、受けとめる



イベント部 主催

古都鎌倉で新緑ハイキングを楽しむ！

ボランティア交流の目的で始めたハイキングは、昨年の「秋の秦野・弘法山ハイキング」の好評に続き、今回は「春の古都鎌倉・天園ハイキング」を去る5月9日（土）に開催しました。

当日は、前日までの降り続いた長雨で実施できるかと心配しましたが、一夜明けると一転して初夏の日差しで絶好のハイキング日和となり、総勢20名の参加者が北鎌倉駅に集合しました。

午前10時にいざ出発！前日までの雨で登山道が荒れて危険もあったので、明月院からのコースに予定を変更し、急坂や住宅地を抜けて一息。北鎌倉からしばらくは古都らしい風景の中、緑深き中を歩いているとどこからか遠くの街並みが見えはじめ、相模湾に面した鎌倉、逗子の町並みでした。山間部のコースへと歩き進む。やはり雨でぬかるんでいて何人もがズ、ルツと滑ってしまう。足元が悪いこともありみんなで声を掛け合い、助け合いながらコース半ばへと進み、景色を楽しみながら、正午過ぎに無事に大平山へ登頂しました。楽しみの昼食は、持ち寄ったいろいろな差入れもあって和気あいあいと……。ゆっくり休んで記念撮影も賑やかに撮り、いざ後半！再びコースへ戻って一気に瑞泉寺を目指して行き進むも下りの山道はもっと滑り易く、もうすぐゴールのところでお約束の一人がズルツ・・・と滑りました。長い坂をなんとか下山すると無事に瑞泉寺に着きました。

あっちに寄り道、こっちに寄り道と歴史あるお寺散策をしながらやっと鎌倉八幡宮に到着で、今回のハイキングは無事に終わりました。参加されたみなさんお疲れ様でした。次回は秋に予定しています。



「素晴らしい青空の下で、美味しいお弁当とお菓子がたっぷりとお腹に入り、すっから機嫌の良くなったお顔で、さあー皆さーん、記念写真を撮りましょう」



「ハイキングPART 2 鎌倉・天園コース」

「鎌倉は雨の後は歩くな」の言い伝えがあるので前日までの雨が心配でしたが、当日は素晴らしいハイキング日和になり、集合場所の北鎌倉駅に活動時では見られない嬉しとした20人の笑顔が集まりました。

イベント部は、昨秋始めて行なった弘法山ハイキングが好評であったので春秋2回の恒例イベントに取り組むことにしました。

青葉若葉の緑のトンネルと尾根を吹き抜ける爽やかな風、絶え間なく聞こえるウグイスのさえずり。所々で歴史の重みを感じ、時には「滑るぞー」・「根っこに気をつけて」・「この石に掴まって下りれば良いよ」と常に声を掛け合いながら、すれ違うハイカーに「こんにちは」と自然に日頃の声飛び交いました。スタジアムの修さんも活動時とは別人に変身し、また、岸本さんと同行された方の笑顔もとても印象的でした。

所々で窓を開けたように視界が開け、鎌倉の街や湘南の海が飛び込んでくる。心が洗われる瞬間です。ランチは持ち寄りの食べ物を廻して食し、一層心が和み一体感が生まれました。

イベント部では、多くの人と楽しい一日を過ごせる企画を続けて行きたいと考えています。秋には海もよし。

芋掘りもよし。魚釣りもよし。一緒に行きましょう。お待ちしております。 —イベント部—

平成20年度 活動実績によるポイント該当者の皆さん

昨年度より導入されましたポイント制の実施に伴い、今年も横浜マリノス（株）様のご好意により、Jリーグ観戦チケットが戴けます。このチケットは日産スタジアムで行われるJリーグ横浜F・マリノス戦の活動に7回以上参加された方の「功労」と「研鑽」を目的に、1名につき2枚配布されるものです。ぜひ実際の試合を観戦して、観客の立場からボランティアの対応をゆっくりとご覧いただき、今後の活動に役立ててください。

尚、チケットの配分については各試合の活動に支障の無いように、運営委員会において決めさせていただきます。また、チケットの交換・転売などは一切できませんので、ご承知ください。（運営委員会・チケット担当）

平成20年度ポイント該当者 昨年の活動ご苦労様でした。本年度も宜しくお願いたします。



イエローカード

「ユニホーム着用時はスタジアムの一員」

「東ゲートのコーラ試飲所でボランティアユニホームを着た人が試飲してますよー」リーダー無線にこんな警告が入って、即時グループリーダーが東ゲートに走るシーンがありました。301号室でユニホームに着替えて、F階段を上がって4階コンコースに出たときから、私たちボランティアはスタジアムのスタッフの一員になります。活動に慣れてきて、大勢のお客様の前でもそれほど緊張することが無くなってくると、ついつい気が緩むことがあります。決して油断は禁物です。多くのお客様の目があります。ときどき、5Fの喫煙所でユニホーム着用でタバコを吸っている人がいます。また、携帯電話の個人使用もご注意ください。もしも、貴方が活動中にこんなシーンを見かけて時は、「イエローカード」を出してください。皆さん、もう一度「ボランティアガイド」を開いてボランティア心得を読み直してください。



スタジアムアラカルト

「佐藤トライアングル」

スタジアムのボランティア専用電話をお掛けした方はお気付きかと思いますが、「日産スタジアム 佐藤です」と優しく応答されるのが佐藤修さんです。同じく「日産スタジアム 佐藤です」と少し枯れた声で応答される方も「すけさん」と呼ばれているもう一人の佐藤さんです。一方「競技場ボランティア事務局の佐藤です」と言われたら事務局員の私 佐藤になります。修さんのデスク前にもう一人の佐藤すけさん。二人の脇に置かれているPC台に私が鎮座しており、正三角形の「佐藤トライアングル」を形成しています。そして電話が中程にあり、電話にはこのスリー佐藤がでる確率が高くなっています。

昨年は、管理事務所に5人の佐藤が居りましたが、300人強のボランティア内でも5人の佐藤がおります。もっと多いのが「鈴木」の10人で、「高橋」も5人で健闘しています。



ボランティア事務局

INFORMATION



事務局の新体制」について

日産スタジアム 佐藤 修

ボランティアの皆様と一緒に仕事をさせていただいてから4年目になりました。初年度に301号室で挨拶をさせていただいたときの緊張感を今でも覚えています。今では皆様の支え（包容力？）によって、いいかげんな私も何とか持ちこたえている状況…でしょうか？これからは「いいかげん」を「良い加減」にできるように頑張ります。

さて、4月から事務局員を増員し、5名の方に委嘱をさせていただきました。新しい仲間の随時募集やイベントの増加などで年々増える事務量の軽減を図りたい…というのが大きなねらいです。業務内容は、

第2条 この事務局は、前条の目的を達成するために次の業務を行う。

- (1) 更新及び新規ボランティア登録手続きに関する実務
- (2) 活動に関する主催者側との連絡調整業務
- (3) 活動者の選出及び調整業務
- (4) 活動日の事前準備及び事後片づけ業務
- (5) その他目的を達成するために必要な業務

(事務局設置要項より)


となっていて、イベント当日以外の業務がたくさんあります。現状では交通費の支給も無く、活動前の準備に3名、当日の活動補助に2名と分担していますが、今後はより効率的な業務分担と定期的な業務運営を考え、諸活動の核としての体制と誰もが参加しやすい組織づくりを目指します。日産スタジアムにとって皆様は縁の下の力持ち=土台です。その土台を支える事務局の活動に、益々のご理解と・ご協力をお願いいたします。

今年は、ボランティア10周年、有意義で楽しい記念の年にいたしましょう。

平成21年度事務局員5名

編集後記

10th ANNIVERSARY

 こんにちは、1年ぶり発行のボランチわ第19号です。この度、ボランティア創立10周年に当たってこれまでの10年を振り返るとき、やはり、ひも解くのは創刊第1号からの「ボランチわ」各号です。思い起こせば、2000年2月、3日間にわたって開かれた第1回ボランティア研修会でグループ討議の司会役を受け持った方々14名に「編集委員」をお願いして編集作業をその年の5月にスタートさせました。未だボランティアルームの無い当時、317号室に集まった編集経験の殆どない面々が、当時それぞれ未だ不慣れなパソコンに悪戦苦闘して3ヶ月余りかかって漸く「創刊号」が発行されたことが懐かしく思い出されます。慣れないながら皆さんの編集意欲は充分で、年4回発行を目標に殆ど毎週1回の編集会議、終われば新横浜に移動して「お楽しみ反省会」と、とても和気藹々の編集会議でした。当時は500名近くの活動登録者がいたので、Jリーグ活動は多くて年3～4回の割り当てですから、活動の大部分が編集活動の皆さんでした。その後、徐々に参加人数は減ったものの第15号までは年4回ペースで発行してきましたが、2004年に「ボランティア組織改革」の風が吹き、「紙の会報」から「ネットの会報」へ移行して編集担当も入れ替わりました。でも、当時は未だHP視聴者の絶対数が少なく全員への通達ができきれずに中断してしまいました。2006年「ボランチわ」復活要望の声が上がり、その間発行した「ボランティア事務局だより」から発展して第16号が復刊されました。現在、編集者が極少数のため年1回の発行ですが、本年は「10周年記念特集号」発行予定ですのでその中で「ボランティア10年の歩み」を詳しく皆さんにお伝えしたいと思っています。どうぞお楽しみになさってください。（編集子 fourteen）

発行・編集：日産スタジアム 運営ボランティア 「ボランチわ」編集部

〒222-0036 横浜市港北区小机3300 日産スタジアム Tel 045-477-5030 Fax 045-477-5002